

A large, abstract graphic on the right side of the page consists of several thick, golden, curved lines that overlap and create a sense of depth and movement. The lines are smooth and have a slight gradient, giving them a metallic appearance. They curve from the top right towards the bottom left, framing the central text area.

CORPORATE PROFILE
2023-2024

妥協なき挑戦を続けて、社会を明日へとつないでいく。

毫不妥协持续挑战, 引领社会走向未来。



contents

Message / 主旨	03
Philosophy / 企业理念	04
For society / 社会责任	05
Field / 领域	07
Business Segment / 事业分布	09
Network / 网络	11
Research & Development / 研发	13
Sustainability / 可持续性	14
History / 历史	15
Data / 数据	17

エネルギーを蓄えられる蓄電池。

この発明のおかげで、あらゆる機器が
持ち運べるようになった。

人類がたどり着けなかった場所へ行けるようになった。

産業の発展を、人類の進化を止めることなく、
いかなるときも社会を支えてきた技術。

そして、その可能性はまだまだ広がっている。

この先、50年後、100年後の、あたり前の日々のために
新しいエネルギーのあり方が求められる今、私たちにできることは何か。

GSユアサは、これからも革新的なチャレンジを続け、
社会を明日へと進める創造を続けてゆきます。

可儲蓄能源的蓄電池。

由于这一发明为各种装置提供了便携性。

人类可以前往以往费尽周折都未曾到达的地方。

该技术在不中断人类进步的基础上,推动了工业发展,任何时候均始终支撑着社会前行。

而且,这种可能性仍在不断地延伸扩大。

为了未来50年乃至100年后理所当然的生活探寻新能源的理想状态,今天我们所能做的是什么呢?

GS Yuasa今后将持续致力于革新解决方案的挑战,引领社会走向未来。

Creating the Future of Energy

これからの100年に向け、次なる価値を創出し 信頼できるエネルギーを届け続ける。

我们将不断进取，源源不断的提供可靠能源，创造新的价值。
迈进未来，开创下一个百年。

GSユアサの企業理念である「革新と成長」について、私は「社会に貢献する新しい価値を創出し、それらによって自らも持続的（サステナブル）に成長すること」と理解しています。そして、世の中全体がサステナブルな社会の実現に向かって今こそ、改めて企業理念に立ち返りたいと考えています。

当社は、この次なる新しい価値を創出するために、創業者精神とこれまでの100年で培ってきた知見を礎とし、エネルギーを蓄える・使う技術の革新にこれまで以上にこだわってまいります。

まずは、モビリティ・社会インフラ分野においてカーボンニュートラルの実現に貢献していくこと。そして、信頼できるエネルギーを届け続けることで皆様の快適な生活環境を実現すべく、さらなる歩みを進めてまいります。

この先も、常にステークホルダーから信頼され、世の中から必要とされる企業であり続けるために。

GSユアサは止まることなく挑戦を続け、人と社会と地球環境に貢献することで次の100年へ向けた成長を遂げてまいります。

これからも一層のご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

代表取締役 取締役社長

村尾 修

关于GS YUASA“革新与成长”的企业理念，我是这样解读的：企业应不断创造出新的价值，为社会贡献力量，并实现自身可持续发展的目标。

在整个社会都步入可持续发展进程的今天，我们更是需要回到原点，重新审视企业理念的初心。

本公司将传承创业者精神，以一个世纪的经验 and 专业知识为坚实基础，精益求精，不断追求能源存储与利用技术的创新，创造新的价值，实现新的飞跃。

首先，在交通和社会基础设施领域为实现碳中和做出贡献，同时源源不断供应可靠的能源，为您打造舒适的生活环境。我们将为实现可持续发展的目标努力进取，勇往直前。

经过一个世纪的积淀和传承，我们深知自己肩负着重要的社会责任。我们将继续以各利益相关方的信赖和对社会的价值为目标，再接再厉，勇往直前。

我们将不断挑战自我，超越自我，为人类、社会和地球环境创造更多的价值和贡献，开创下一个百年辉煌。

恳请您今后多加支持。

代表取締役社長





企業理念 企业理念

「革新と成長」

GS YUASAは、社員と企業の「革新と成長」を通じ、人と社会と地球環境に貢献します。

“革新与成长”

GS YUASA通过员工和企业的“革新与成长”，为人类、社会和地球环境做贡献。

サステナビリティ経営方針 可持续发展经营方针

GS YUASAは、電池で培った先進のエネルギー技術で世界のお客様へ快適さと安心をお届けし、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

GS YUASA的目标是充分利用在电池领域所积累的先进能源技术，为全球客户提供舒适与安心的服务，不断进取，提升企业价值，为实现可持续发展社会贡献力量。

社会の課題解決に、電池で挑む。

通过电池技术，挑战和解决社会课题。

事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

GSユアサは、企業理念に基づき、常に未来を動かす原動力となる最先端技術に挑戦し、革新的な製品を生み出し続けることで、持続可能な社会の実現に向けてさまざまな社会課題の解決に貢献してまいります。

GS Yuasa通过事业活动为实现可持续发展的社会做贡献。

GS Yuasa基于企业理念致力于通过不断挑战推动未来向前发展的原动力——最先进技术，继续创造出革新型产品，面向实现可持续发展社会的各式各样课题的解决，做出应有的贡献。

VISION 2035

GS YUASAは、4つの『Re』をキーワードにエネルギー技術の革新をすすめ、モビリティと社会インフラの成長による社会課題解決に貢献し、持続可能な社会と人びとの快適な生活環境を実現します。

VISION 2035

GS YUASA秉持4个“Re”为核心理念，致力于推动能源技术的创新，为移动性和社会基础设施发展所带来的社会课题提供解决方案，为人类创造舒适生活环境，与时代和鸣，构建可持续发展社会。



【GSユアサの事業活動が貢献するSDGs】

【GS Yuasa事业活动贡献SDGs】

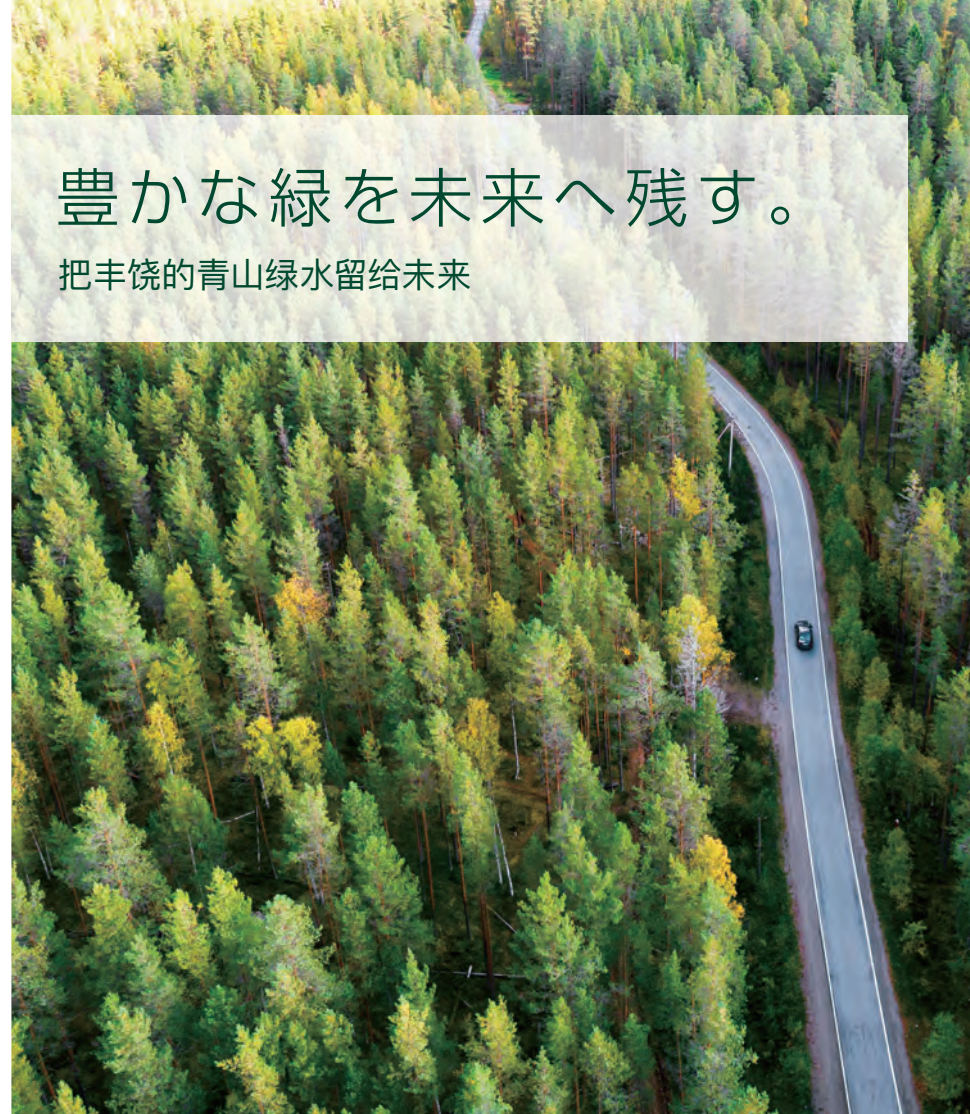


SDGsとは国際社会の持続的な発展を阻害するさまざまな社会課題を克服するために世界各国が2030年までに達成を目指す内容が17項目に整理されており、企業にも取り組みが求められています。

SDGs为解决阻碍国际社会可持续发展的各种社会课题，世界各国力争在2030年前达到所整理出的17项内容，企业也被要求参与并发挥作用。

豊かな緑を未来へ残す。

把丰饶的青山绿水留给未来



世界各地で自動車のCO₂排出量や燃費に関する規制が厳しくなり、電気自動車の普及が進んでいます。

こうした車の電動化の進展に、当社の製品が貢献しています。

世界各国汽车CO₂排放量和油耗的法规越来越严格，电动汽车正逐步普及。

GS Yuasa的产品正在为汽车电动化的发展做出贡献。

自然の力を有効に使う。

有效地利用自然的力量



限りある化石燃料に代わり、再生可能エネルギーの利用を拡大させていくためには、太陽光や風力などで得られる電力の出力変動を安定化させることが不可欠です。それら自然エネルギーの有効活用に、当社の製品が役立っています。

为取代有限的化石燃料，扩大可再生能源利用，提高太阳能和风能所产生的电力输出功率的稳定性是必不可缺的。GS Yuasa的产品有助于更有效地利用这些可再生能源。

社会の動きを止めない。

社会活动不受间断



電力の供給なくして社会活動が立ち行かない今の時代において、災害時の電力供給途絶を想定したバックアップ電源の重要性が一層高まっています。当社の製品は、高い品質と信頼性で社会の基盤となるインフラを守っています。

当今时代，没有电力供应就无法开展社会活动。因此，为在灾害期间发生电力供应中断而开发的备用电源就变得尤为重要。GS Yuasa的产品以高质量和可靠性守护着作为社会基石的基础设施。

地球上のあらゆる場所から宇宙まで。 すべてが私たちの活躍フィールド。

从地球的每一个角落到宇宙空间，
全部都有GS Yuasa的活跃领域。

時代、時代のニーズに合わせて市場を切り拓き、革新的な製品を開発してきたGSユアサ。
今では社会のあらゆる場所で、人類の進歩を、社会の営みを、支えています。

一直以来，GS Yuasa坚持顺应时代潮流、符合时代需要，开拓市场、开发革新型产品。
如今，在社会的前方，GS Yuasa的产品一直支持着人类的进步和社会的发展。

宇宙開発に貢献する
信頼性と高性能
贡献于宇宙开发的可靠性和高性能

衛星用
リチウムイオン電池
卫星用锂离子电池



©JAXA/NASA



社会を24時間365日
バックアップ
一天24小时、一年365天服务社会

制御弁式据置鉛蓄電池
固定型閥控式鉛蓄電池

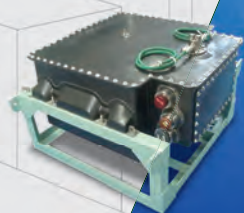
交流無停電電源装置
交流不间断电源装置



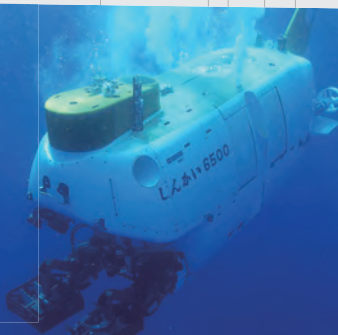
極限に挑む
挑战极限

深海の圧力に
負けない優れた耐久性
可耐深海压力的卓越耐久性

©JAMSTEC



有人潜水調査船用リチウムイオン電池
载人潜水調査船用锂离子电池



LEDリチウム
ソーラーライト
LED太阳能锂电池灯



街を見守る
守护街道

暮らしと社会を
やさしく照らす灯
灯光柔和，照亮生活与社会



航空機用リチウムイオン電池
飞机用锂离子电池



エネルギーを
有効に使う
有効使用エネルギー

産業を支える
支持各行各业

乗り物の進化に応える
高性能・高品質

与交通工具共同发展的高性能、
高质量

リチウムイオン電池搭載
パワーコンディショナ
装有锂离子电池的功率调节器



産業用リチウム
イオン電池
(高容量タイプ)
工业用锂离子电池
(大容量型)



世界の
港湾でも活躍
广泛应用于全球各港口

移動を進歩させる
让移动更加方便

自動車・オートバイ用鉛蓄電池
汽车、摩托车用铅蓄电池



車載用
リチウムイオン電池
汽车用锂离子电池



産業用
リチウムイオン電池
(高入出力タイプ)
工业用锂离子电池
(高输入输出型)

太陽光発電用
パワーコンディショナ
太阳能发电用功率调节器

再生可能エネルギーの
出力変動を安定化
可再生资源的输出功率波动稳定化



電動車両用鉛蓄電池
电动叉车用铅蓄电池

“運ぶ”を支える
強靱な体力とパワー
支持“搬运”的强劲体能



再生電力貯蔵装置
再生电力储存装置



社会のニーズに応える5つの事業セグメント。 响应社会需求的5大事业部门。

自動車電池事業 (国内)

汽车电池事业 (日本)

国内の自動車・オートバイ用鉛蓄電池の製造・販売をおこなっています。アイドリングストップ車やHEV (ハイブリッド車) などの環境対応車向けに高性能で高品質な始動用・補機用のバッテリーを開発し、市場へ送り出しています。

负责日本国内汽车、摩托车用铅酸蓄电池的生产和销售。针对怠速起停功能车和HEV(混合动力车)等环保型汽车,开发了高性能、高品质的启动用蓄电池与辅机用蓄电池,并推向市场。

自動車電池事業 (海外)

汽车电池事业 (海外)

タイ、インドネシアなどのアジア地域を中心に、世界19カ国37拠点で、自動車・オートバイ用、産業用鉛蓄電池の製造・販売をおこなっています。

以泰国、印度尼西亚等亚洲地区为中心,在全球19个国家37个分支机构,生产和销售汽车、摩托车和工业用的铅酸蓄电池。

産業電池電源事業

工业电池电源事业

携帯電話基地局向けやビル・上下水道・発電所など社会インフラ設備の電力バックアップ用産業電池・電源装置、再生可能エネルギー用蓄電システム (リチウムイオン電池搭載) のほか、フォークリフトなどの電動車両用鉛蓄電池の製造・販売をおこなっています。

除用于移动电话基站及大楼、上下水道、发电站等社会基础设施的电力备用工业电池和电源装置、可再生能源用储能系统 (装有锂离子电池) 外,还生产和销售叉车等电动车辆用铅酸蓄电池。

世界初の新技術「GRテック液栓」を採用した 日本車専用EN規格バッテリーをリニューアル発売

升级发售采用全球首发新技术“GRtech液塞”的日本汽车专用欧洲标准蓄电池

世界初の新技術「GRテック液栓」を採用し、2023年6月にECO.R ENJ シリーズをリニューアル発売しました。バッテリー充電時に発生する水素と酸素を液栓内の触媒デバイスにより再結合させ、水滴としてバッテリー液に戻すことで、当社従来品から大幅な液減り抑制効果を実現しました。液減りの抑制によりバッテリー液比重が安定し、クイックチャージ性能を高く維持することで、長寿命を実現しました。

采用全球首发新技术“GRtech液塞”,2023年6月升级发售ECO.R ENJ 系列。液塞内的催化装置将蓄电池充电时产生的氢气和氧气再次结合,并以水滴形式重回蓄电池电解液中。这与GS Yuasa以往的产品相比,大幅抑制了液体的损耗。通过抑制液体的损耗,蓄电池电解液比重处于稳定状态,出色维持快速充电效率,让电池寿命更长久。



DXを活用した遠隔監視サービス「STARELINK」

运用DX的远程监控服务——“STARELINK”

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて再生可能エネルギーの有効活用で使用されるリチウムイオン蓄電池設備の導入が拡大しています。その安定稼働と最適制御を維持するため、これまでに培った知見を元に、遠隔監視技術とAIを活用した予測・予兆技術を組み合わせた当社独自のサービスを開始しました。収集した結果の解析・診断を行い、蓄電池の使用状況や劣化状態を把握して運用計画や予防保全に活かすとともに、万が一の際にもシステム停止の影響を最小限に抑えます。

为实现2050年的碳中和目标,目前正扩大引进能实现可再生能源有效利用的锂离子电池设备。为维持其稳定运行和最佳操控,GS Yuasa基于多年积累的知识,将远程监控技术与灵活运用AI的预测、预兆技术相结合,推出了专属服务。分析、判断收集的结果,掌握蓄电池的使用情况和老化程度,并应用于使用计划和预防性维护中,同时最大限度减少意外情况时系统停止运行带来的影响。

車載用リチウムイオン電池事業

车载用锂离子电池事业

環境対応車として注目が集まるBEV(電気自動車)やPHEV(プラグインハイブリッド車)、HEVなどに搭載される車載用リチウムイオン電池の製造・販売をおこなっています。これまでに培ったノウハウをもとに、カーボンニュートラル実現に向け、BEV普及に貢献すべく電池開発への取り組みを強化しています。

生产和销售用于作为环保型车辆而备受瞩目的BEV(电动汽车)、PHEV(插电式混合动力车)和HEV等的车载用锂离子电池。为实现碳中和目标,GS Yuasa基于迄今为止积累的技术诀窍,加强电池开发措施,以推动BEV的普及。

国内でのバッテリー需要に対応

应对日本国内对蓄电池的需求

本田技研工業株式会社様、当社および株式会社ブルーエナジーの3社は、高容量・高出力なリチウムイオン電池の開発・量産に向けた「蓄電池に係る供給確保計画」において、経済産業省の認定を受けました。

今後拡大が見込まれる国内でのバッテリー需要に対応するとともに、産業構造・社会構造をグリーンエネルギー中心へ転換するグリーントランスフォーメーション(GX)に貢献してまいります。

本田技研工業株式会社、GS Yuasa International Ltd.与Blue Energy Co.,Ltd.3家公司已在《关于蓄電池供給確保計劃》方面获得经济产业省的批准,该计划旨在开发并批量生产更大容量、更高输出功率的锂离子电池。

应对今后有望增长的日本国内蓄電池需求,同时为工业结构和社会结构向以清洁能源为中心转换的绿色转型(GX)做出贡献。

特殊電池およびその他

特殊電池及其他

有人潜水調査船や人工衛星、ロケットなど、深海から宇宙まで幅広い分野で使用されるリチウムイオン電池をはじめとする、特殊用途の電池や電源装置の開発・製造・販売をおこなっています。

在进行着特殊用途的電池和电源的开发、生产和销售,包括载人潜水调查船和人造卫星、火箭等从深海到宇宙的广泛领域中应用的锂离子电池。

認定された蓄電池に係る供給確保計画の概要

- 事業者名 株式会社GSユアサ、本田技研工業株式会社、株式会社ブルーエナジー
- 事業総額 約4,341億円 ● 助成金額 約1,587億円(最大)
- 生産規模 20GWh(国内) ● 品目 車載用および定置用リチウムイオン電池
- 計画する取組内容

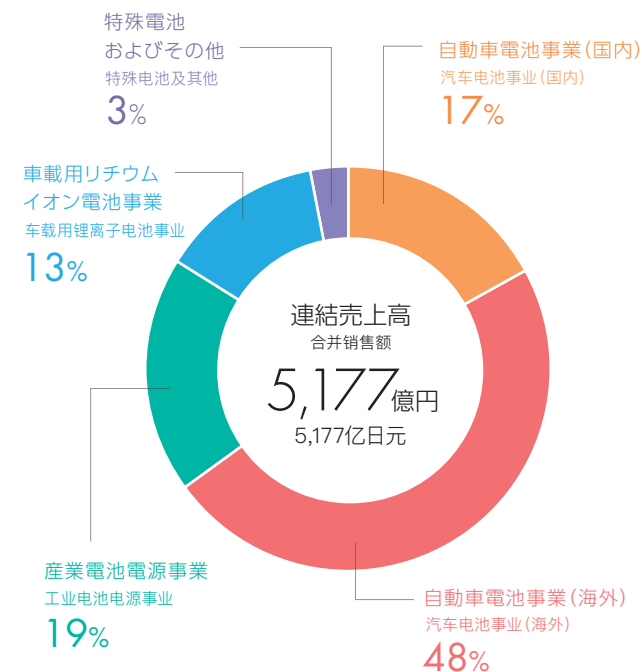
高容量・高出力の蓄電池の研究開発および量産に向けた製造技術開発を実施。また、量産投資を行い、2027年4月より生産ライン稼働(同年10月より本格量産開始)。2030年にかけて順次生産ラインを立上げ量産開始。

已获批的关于蓄電池供給確保計劃的概述

- 企业名称 GS Yuasa International Ltd.、本田技研工業株式会社、Blue Energy Co.,Ltd.
- 事业总额 约4,341亿日元 ● 补助金额 约1,587亿日元(最高金额)
- 生产规模 20GWh(日本国内) ● 产品类别 车载用与固定式锂离子电池
- 计划实施内容

实施更大容量、更高输出功率的蓄電池研发,以及实现批量生产的制造技术开发。此外,投资批量生产,自2027年4月起启动生产线(同年10月正式投入批量生产)。至2030年依次设立生产线并开始批量生产。

■ 事業別売上高構成比 (2022年度)
各事业销售额构成比例(2022年度)



Network

グローバル、かつ、ローカルに。さまざまな国・地域で、さらなる挑戦を。

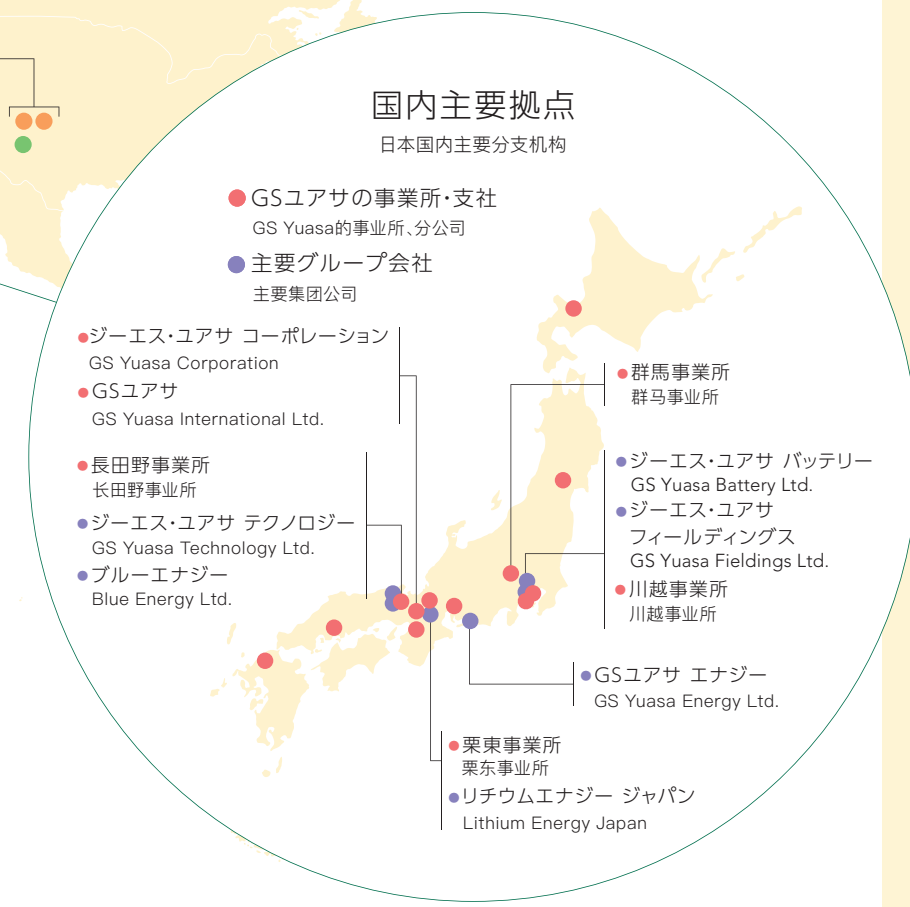
全球化、本地化。在各国、各地区，迎接进一步的挑战。





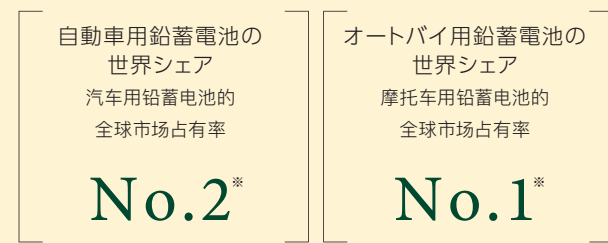
アメリカ 美国

- Yuasa Battery, Inc.
- GS Yuasa Energy Solutions, Inc.
- GS Yuasa Lithium Power, Inc.



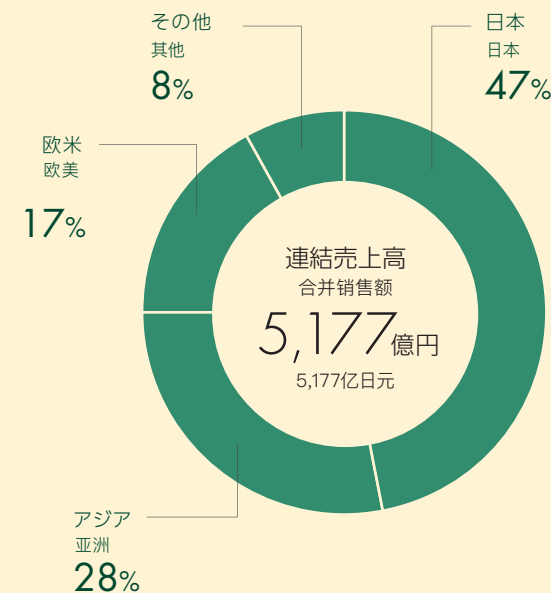
全世界でトップクラスのシェアを誇るGSユアサの製品群をさらに多くの人々に使っていただくため、今後も積極的な海外展開を推進していきます。

为了让更多用户用上在全世界拥有顶级份额的GS Yuasa的产品系列,今后也将积极地进行日本以外市场的推广。



※2022年度 当社推定
※2022年度 本公司推測

■ 地域別売上高構成比 (2022年度)
各地区销售额比率(2022年度)



さらなる革新へ。
新技術・新製品の開発にも、ひたむきに。

进一步的革新。
专注于新技术、新产品的开发。

顧客を深く研究し、柔軟な発想で、世の中に求められる革新的な技術・製品を生み出すための研究開発体制を整えています。

深入研究社会问题,以灵活的思维,完善世界需要的
创新性技术和产品的研究开发体系。

製品・サービスを通じて社会に貢献
通过产品和服务贡献社会

生産・販売
生产、销售

事業部・グループ会社
(国内外)
事业部、集团公司
(日本国内外)

設計開発
设计开发

研究・開発
研究、开发

基礎研究
基础研究

LIB
技術開発センター
LIB技术开发中心

リチウムイオン電池の
研究・開発・設計
锂离子电池的
研究、开发、设计

生産技術
生产技术

研究開発センター
研发中心

次世代技術の研究・開発
下一代技术的研究、开发

社会課題・
市場ニーズ
社会课题与市场需求

シーズ
种子

グローバル
技術統括センター
全球技术统筹中心

鉛蓄電池の研究・開発
铅酸蓄电池的研究、开发

生産技術
生产技术

GS Yuasa Asia
Technical Center Ltd.

ASEAN・周辺国の拠点に対する
鉛蓄電池の設計開発・性能評価
针对东盟及邻国本公司分支机构的
铅酸蓄电池设计开发和性能评价

これからの持続可能な未来の実現へ向けて。 迈向可持续发展的未来。

企業と社会のサステナビリティのために、さまざまな取り組みをおこなっています。

为实现企业与社会的可持续性采取各种举措。



カーボンニュートラルへの取り組み

针对碳中和所采取的举措

GSユアサは地球温暖化に伴う気候変動が社会にとっての重要な課題であると認識し、事業活動に伴う温室効果ガス削減を推進しています。脱炭素社会への移行に向け、企業としての責任を果たすため、カーボンニュートラルの達成に向けた取り組みを、今後もさらに加速していきます。

GS Yuasa认识到伴随着全球变暖的气候变化是重要的社会问题，正在推动削减事业活动相关的温室气体排放。今后将持续加快实现碳中和的步伐，以履行作为企业的责任，实现向脱碳社会过渡。

GY環境長期目標2030

GY环境长期目标2030

2030年度までに事業活動により排出する温室効果ガスを、30%以上削減(2018年度比)することを目標に、さまざまな施策に取り組んでいます。この目標を達成するために、①省エネルギー対策の推進、②再生可能エネルギーの自家消費、③再エネ電力の調達を強化しています。

致力于通过各种措施，实现在2030年度之前事业活动排放的温室气体削减30%以上(2018年度同比)。为达成这一目标，强化①节能对策的推进、②可再生能源的自家消费、③采购可再生电力。



気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同およびTCFDコンソーシアムへの参加(2019年12月)

赞同气候相关财务信息披露工作组(TCFD)的建议，并参与TCFD Consortium(2019年12月)

ダイバーシティ&インクルージョン

多样性&包容性

GSユアサは、多様性を尊重し、また、誰もがその能力を十分に発揮し、心身ともに健康でいきいきと働き続けることが重要であると考え、働きやすさや働きがいを重視した取り組みを推進しています。

GS Yuasa尊重多样性，认为每个人都能充分发挥自己的能力，并保持身心健康，精力充沛地工作至关重要，因此正在推进重视能够轻松工作并感受到工作意义的举措。



プラチナなるみに認定
[子育てサポートについて高い水準の取り組みを行っている](2020年6月)

获得铂金标准认证“针对育儿支持实施高水准举措”(2020年6月)



健康経営優良法人に7年連続で認定
[従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる](2023年3月)

连续7年获得健康管理优秀企业认证
“从员工的健康管理角度考虑战略措施”(2023年3月)



日本政策投資銀行(DBJ)健康格付に認定
最高ランク「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」(2018年7月)

获得日本政策投资银行(DBJ)健康等级认定
最高等级“针对员工健康关怀的举措尤为突出”(2018年7月)

地域社会への貢献

对地区社会的贡献

GSユアサは、「革新と成長を通じた人・社会・地球環境への貢献」を主旨とする企業理念を実践することによって、SDGsが目指す社会の実現に貢献できると考えています。さまざまな活動への支援を通じて、地域の環境保全や次世代を担う子どもたちを中心とした人づくりへの貢献を続けていきます。

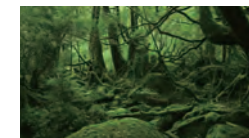
GS Yuasa践行以“通过革新与成长为人类、社会和地球环境做出贡献”为主旨的企业理念，为SDGs致力于实现的社会做出贡献。通过支援各种活动，持续为地区环境保护以及培育肩负下一代重任的儿童为中心的人才培育做出贡献。

屋久島環境文化財団の活動の支援

支援屋久島環境文化財団活動

屋久島は1993年に日本の世界遺産第1号として登録された日本を代表する自然です。屋久島環境文化財団への協賛を通じて、人類の財産である屋久島の豊かな自然環境を保護するための活動や自然と人が共生する地域づくりを行っています。

屋久島是具有日本代表性的自然环境，并于1993年登录为日本首个世界遗产。通过赞助屋久岛环境文化财团，展开保护人类财产——屋久岛富饶自然环境的活动，并打造人与自然和谐共生的地区。



提供:公益財団法人 屋久島環境文化財団
图片提供:公益財団法人 屋久島環境文化財団

劇団四季「こころの劇場」の支援

支援四季劇団“心灵剧场”

劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターが主催する「こころの劇場」は、生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、人が生きていく上で大切なものを、舞台を通じて子どもたちの心に語りかける活動です。

“心灵剧场”是由四季剧团与一般财团法人舞台艺术中心主办，通过戏剧向孩子们讲述生命的重要性、关怀他人之心、相互信任的喜悦等人生最为重要事项的心灵对话活动。



History

1895~

事業基盤の確立

事业基础的建立

日本の産業革命期。蓄電池の未来に可能性を見だし、島津源蔵・湯浅七左衛門がGSユアサの前身となる2つの会社をそれぞれ設立。自動車用鉛蓄電池の製造などで事業の基盤を築いた。

日本工業革命时期，岛津源蔵和汤浅七左卫门看好蓄電池的未来潜力，分别成立杰士汤浅国际前身的两家公司。为汽车用鉛蓄電池的生产等事业奠定了基础。

1895

- 島津源蔵、日本で初めての鉛蓄電池を製造

島津源蔵，生产日本最早的鉛蓄電池



1913

- 湯浅七左衛門、金属の電解科学に関する研究を開始

湯浅七左衛門，开始有关金属电解科学的研究



1917

- 日本電池(株) 設立

设立日本電池(株)



1918

- 湯浅蓄電池製造(株) 設立

设立湯浅蓄電池製造(株)



1919

- 自動車用鉛蓄電池の製造開始

开始生产汽车用鉛蓄電池

1920

- 自動車用鉛蓄電池の製造開始

开始生产汽车用鉛蓄電池

- 島津源蔵、易反応性鉛粉製造法を発明

島津源蔵，发明易反应性鉛粉製造法



1924

- 乾電池の研究に着手、翌年製造販売を開始

着手研究干電池，第二年開始生产销售



1930

- 島津源蔵、十大発明家に選ばれる

島津源蔵被选为十大发明家

1931~

事業の拡大と戦後からの復興

事业拓展与战后重建

蓄電池の充電に必要な水銀整流器の製造を開始。その技術を用いて、水銀灯の開発など新たな事業も展開。多様な製品と技術で社会の発展を後押しした。

开始生产蓄電池充电所需的水銀整流器，并借此技术，展开了水銀灯开发等新事业。通过多样的产品与技术推动了社会发展。

1933

- ガラス製水銀整流器の製造開始

开始生产玻璃制水銀整流器



1935

- 水銀整流器の製造開始

开始生产水銀整流器

1938

- アルカリ電池の製造開始

开始生产碱性電池

1940

- 超高压水銀灯を開発

开发超高压水銀灯

1941

- アルカリ電池の製造開始

开始生产碱性電池

1961~

モータリゼーションとともに

随着机动化

自動車の大衆化に合わせ、メンテナンスフリーのバッテリーを開発。変化する自動車ニーズと大量生産の波に、バッテリー製造技術の革新、生産体制の強化で対応。

随着汽车的普及，蓄電池开始免维护了。公司通过革新電池製造技术、强化生产体制应对着不断变化的汽车需求与大规模生产的浪潮。

1963

- 初の海外拠点をタイに設立

在泰国设立首家海外分支机构



1966

- 初の海外拠点をタイに設立

在泰国设立首家海外分支机构



1972

- 超薄膜エミクロンセパレーターによる高性能エミクロン電池発売

基于超薄膜微米隔膜的高性能微米電池上市

1976

- メンテナンスフリー電池の製造販売開始

开始生产、销售免维护電池

1981~ 情報化・グローバル社会への対応 适应信息化、全球化社会

電池の小型・高容量化などの要求に応え、携帯電話や音楽プレーヤーなどの機器が持ち歩けるように。さらに、宇宙開発に貢献する高性能な電池も生み出した。

为了满足对更小、更大容量电池的需求，使手机、音乐播放器等设备可随身携带。与此同时，生产高性能电池，为宇宙开发做出贡献。

1981 ●二輪車用制御弁式鉛蓄電池を開発

开发摩托车用阀控式铅酸蓄电池

— 1985 —

二輪車用制御弁式鉛蓄電池が第6回国際バッテリーコンペティションで特別賞を受賞

摩托车用阀控式铅酸蓄电池获得第6届国际电池竞赛特别奖



1985 ●自動車用制御弁式鉛蓄電池を開発

开发汽车用阀控式铅酸蓄电池

●プレート形ニカド電池を開発

开发板形式镍镉电池



1993 ●ポータブル機器用 角形リチウムイオン電池を開発

便携式设备用方形锂离子电池的开发

1998 ●宇宙用リチウムイオン電池の製造開始

开始生产宇宙空间用锂离子电池

●超薄型リチウムポリマー二次電池を開発

开发超薄型锂聚合物二次电池

2001~ 持続可能な社会のために 为了可持续发展的社会

地球環境保全への意識が高まり、社会のあり方も変化中、新たに、クリーンエネルギー普及に貢献する蓄電システムやEV・HEVなどの電動車両用リチウムイオン電池を開発。

在全球环保意识不断增强、社会性质发生变化的情况下新开发了储能系统和EV、HEV等电动车辆用的锂离子电池，为清洁能源的普及做出了贡献。

2004 ●2社が経営統合し、(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション設立

两家公司经营合并，
设立GS Yuasa Corporation



●有人潜水調査船「しんかい6500」に リチウムイオン電池が搭載

因载人潜水调查船“深海6500”用电池的开发，
获得日本产业技术大奖和内阁总理大臣奖



しんかい6500 深海6500

2005 ●世界で初めて航空機にリチウムイオン電池システムの採用が決定

世界首次用于飞机的锂离子电池系统

2007 ●EV・PHEV用のリチウムイオン電池事業を開始 (合併会社(株)リチウムエナジー ジャパン 設立)

EV、PHEV用锂离子电池事业的开始(设立合资公司Lithium Energy Japan)

2009 ●HEV用のリチウムイオン電池事業を開始 (合併会社(株)ブルーエナジー 設立)

HEV用锂离子电池事业的开始(设立合资公司Blue Energy Co., Ltd.)

●アイドリングストップ車用鉛蓄電池を開発

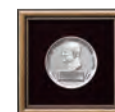
怠速起停功能车用铅酸蓄电池的开发

— 2014 —

電池産業の発展と普及への貢献を認められ、
IEEEマイルストーンに認定
因其对电池产业的发展和推广做出的贡献而获得
IEEE里程碑



— 2015 —
日本科学技術連盟デミング賞を受賞
获得日本科学技术联盟戴明奖



2016 ●国際宇宙ステーションにリチウムイオン電池が搭載

锂离子电池用于国际宇宙空间站

●EN規格の自動車用鉛蓄電池を開発

欧洲标准汽车用铅酸蓄电池的开发

2017 ●AI(人工知能)を用いた蓄電池システムの 状態監視に関する実証実験を開始

启动利用AI(人工智能)监测蓄电池系统状态的示范实验

2017・2018 ●設立100周年を迎える (2017年 日本電池、2018年 ユアサ コーポレーション)

迎来成立100周年(2017年日本电池成立100周年、
2018年Yuasa Corporation成立100周年)



2018 ●世界最大規模の風力発電用蓄電池設備を受注

获得世界最大规模风力发电用蓄电池设备的订单

2019 ●国内初の完全バッテリー推進船にリチウムイオン電池を搭載

日本第一艘配备锂离子电池的全电动推进船

●次世代航空機実現に向けた軽量蓄電池の開発を開始

开始下一代飞机用轻量蓄电池的开发

2020 ●「プラチナくるみん」企業 として認定

被认证为“白金襟襟”企业



2021 ●温室効果ガス削減目標 「GY環境長期目標2030」を設定

设立温室效应气体减排目标
“GY环境长期目标2030”

— 2021 —

文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞
荣获文部科学大臣表彰 科学技术奖

2022 ●令和3年度「なでしこ銘柄」に認定

获得2021年度
“NADESHIKO
BRAND”认证



2023 ●Vision2035(長期ビジョン)および 第六次中期経営計画を策定

制定Vision2035(长期愿景)
及第六次中期经营计划



行動指針 行动准则

CSR方針 CSR方针

GS YUASAは、法令遵守にとどまらず、社会的責任に関わる国際的行動規範を尊重し、蓄エネルギー技術等により事業活動の持続的発展に取り組むとともに、人と社会と地球環境に貢献します。

GS YUASA不仅遵守法令，还尊重与社会责任相关的国际行为规范，通过储能技术等致力于事业活动的可持续发展，同时为人类、社会和地球环境做出贡献。

● 安全衛生基本方針 安全卫生基本方针

私たちは安全と健康を守る企業風土を構築します。

我们创建一种确保安全、健康的企业文化。

● 品質基本方針 质量基本方针

GS YUASAは、企業理念の実現に向け、「ものづくり」を研鑽し、お客様を第一に考え、製品とサービスの質向上に努めます。

GS YUASA致力于实现企业理念，钻研“物品制造”，以顾客第一为宗旨，努力提高产品和服务质量。

● 環境基本方針 环境基本方针

基本理念
基本理念

GS YUASAは、社員と企業の「革新と成長」を通じ、人と社会と地球環境に貢献します。電池で培った先進のエネルギー技術で世界のお客様へ快適さと安心をお届けし、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

GS YUASA通过员工和企业的“革新与成长”，为人类、社会和地球环境做贡献。凭借在电池上培育出的先进能源技术，给予全球客户舒适感与安心感，从而实现可持续发展社会，提升企业价值。

Data

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション GS Yuasa Corporation

◎ 事業内容

持ち株会社傘下のグループ企業全体の経営戦略を策定・統括し、グループの企業価値の最大化を図る。

◎ 設立

2004年4月1日

◎ 京都本社

〒601-8520
京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地
電話 075-312-1211

◎ 資本金

528億円

◎ 連結売上高

5,177億円(2022年度)

◎ 従業員数

グループ連結 14,317名(2023年3月31日現在)

◎ 上場証券取引所

東京証券取引所

◎ 事業内容

制定并统筹控股公司旗下整体集团企业的经营战略，实现集团企业价值的最大化。

◎ 設立

2004年4月1日

◎ 京都总公司

邮编: 601-8520
京都市南区吉祥院西之庄猪之馬場町1番地
电话: +81-75-312-1211

◎ 注册資本

528亿日元

◎ 合并销售额

5,177亿日元(2022年度)

◎ 员工人数

集团合计14,317名(截至2023年3月31日)

◎ 上市証券交易所

东京証券交易所



株式会社 GSユアサ GS Yuasa International Ltd.

◎事業内容

自動車用・産業用各種電池、電源システム、
受変電設備、その他の電気機器の製造・販売

◎設立

2004年6月1日

◎本社

〒601-8520
京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地
電話 075-312-1211

◎資本金

100億円

支社 分公司

【東京支社】

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目7番13号

【北海道支社】

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目1番地2

【東北支社】

〒980-0811 仙台市青葉区一番町3丁目1-1

【中部支社】

〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目2番29号

【関西支社】

〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目2番2号

【中国支社】

〒730-0032 広島市中区立町2番23号

【九州支社】

〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目12番1号

事業所 事業所

【京都事業所】

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地

【群馬事業所】

〒370-0111 群馬県伊勢崎市境上矢島671番地

【長野事業所】

〒620-0853 京都府福知山市長田野町1-37

【栗東事業所】

〒520-3021 滋賀県栗東市蜂屋780-1

【川越事業所】

〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂大野原677番地

◎ISO14001認証取得日

1998年6月12日 (登録証番号JQA-EM0173)

◎事业内容

GS Yuasa生产和销售汽车用、工业用各种电池、电源系统、
受变电设备及其他电气设备

◎設立

2004年6月1日

◎总公司

邮编: 601-8520
京都市南区吉祥院西之庄猪之馬場町1番地
电话: +81-75-312-1211

◎注册资本

100亿日元

【东京分公司】

邮编: 105-0011 東京都港区芝公園一丁目7番13号

【北海道分公司】

邮编: 060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目1番地2

【东北分公司】

邮编: 980-0811 仙台市青葉区一番町3丁目1-1

【中部分公司】

邮编: 460-0008 名古屋市中区栄4丁目2番29号

【关西分公司】

邮编: 530-0003 大阪市北区堂島2丁目2番2号

【中国分公司】

邮编: 730-0032 広島市中区立町2番23号

【九州分公司】

邮编: 810-0001 福岡市中央区天神2丁目12番1号

【京都事業所】

邮编: 601-8520 京都市南区吉祥院西之庄猪之馬場町1番地

【群馬事業所】

邮编: 370-0111 群馬県伊勢崎市境上矢島671番地

【長野事業所】

邮编: 620-0853 京都府福知山市長田野町1-37

【栗東事業所】

邮编: 520-3021 滋賀県栗東市蜂屋780-1

【川越事業所】

邮编: 350-1155 埼玉県川越市下赤坂大野原677番地

◎ISO14001認証獲得日

1998年6月12日 (注册证书编号: JQA-EM0173)

主要グループ会社 主要集团公司

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー

補修用自動車電池、自動車関連商品の販売

株式会社 GSユアサ エナジー

自動車用鉛蓄電池の開発・生産・販売

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

航空宇宙・防衛分野の電池および整流器等の製品の設計・開発・製造・販売・技術サービス

株式会社 リチウムエナジー ジャパン

大型リチウムイオン電池の開発・製造・販売

株式会社ブルーエナジー

高性能リチウムイオン電池の製造・販売および研究開発

株式会社 ジーエス・ユアサ フィールドインクス

産業用電池・電源システム・受変電設備の総合エンジニアリングサービス

GS Yuasa Battery Ltd.

售后用汽车电池、汽车相关商品的销售

GS Yuasa Energy Co., Ltd.

汽车用铅蓄电池的开发、生产和销售

GS Yuasa Technology Ltd.

宇宙航空、防卫領域の電池和整流器等产品的设计、开发、生产、销售和技术服务

Lithium Energy Japan

大型锂离子电池的开发、生产和销售

Blue Energy Co., Ltd.

高性能锂离子电池的生产、销售及研究开发

GS Yuasa Fieldings Ltd.

工业用电池、电源系统、受变电设备的综合工程服务

